

ひとりひとりが 節水を

6月1日から 水道週間

蛇口をひねれば、好きなだけ水がでる。そんな便利な生活の中で、私たちはとかく水の貴重さを忘れてがちです。しかし、その水をつくり、家庭に運ぶまでには、ばく大な費用と労力がかかっています。浄水場づくり、消毒用の薬品、導水管や配水管の設置・施設の維持管理、数えあげればキリがありません。

ところが電気やガスとちがって、水の使い方についてはあまり気にしない人が多いようです。家庭で、学校で、会社で、一人一人の工夫と努力で節水する余地は相当あります。

六月一日から「水道週間」が始まります。これを機会に、節水の心がけを今いちど新たにしたいものです。

交通災害共済は四月一日に切り替えになり、四月三十日現在の加入者は一万五千九百四十九人です。加入率は六三・四%で、昨年度の県平均より約一〇%低い数字になっています。

交通事故は人災です。いつ、どこであなや家族の方に災害がふりかかるかわかりません。

年々交通事故は減少する傾向にあります。またまだ被害者は後をたちません。まだ加入していない

九千人以上の方も、交通事故の恐ろしさを認識していただき、加入することをお勧めします。

1日1円の掛金

交通災害共済に 加入しましょう

掛金は一日一円で、年額三百五十円です。十五歳以下の方と七十歳以上の方は、年額三百円と割り安になっています。交通災害共済は、お互いに助け合うものです。いつでも簡単に加入できるので、忘れている方や加入していない方は、万一に備え、家族そろって加入しましょう。

『環境週間』はじまる

昭和五十年度に排出された家庭ゴミの量は、三千八百八十二万トにもなりました。これに、会社や工場などからも出るゴミ二千二百三十万トを加えると、合計四千二百五万トになります。この量をさらにわかりやすく説明しますと、国民一人が一日あたり千三十二トのゴミを出したことになります。また、一・五トのゴミ収集車で換算しますと、約十三万台分、一列に並べると約六百キ、ざっと東京から大阪までの長さです。

これからも、家庭ゴミの排出量は増える見通しです。環境庁の試算によりますと、昭和六十年には五千七百万トという、膨大なゴミの量になると見込まれています。

六月五日から、例年どおり「環境週間」がはじまります。このテーマは「よりよい環境を求めて」です。ゴミに埋もれた日本にならないよう、私たち一人一人がゴミを出さないよう努力して、量を減らしていくことを心がけたいものです。

市史編さん室だより

明治からのあゆみ

昭和9年 ⇨ 11年



現在の
上の代発電所

- ⑳ 日光国立公園の指定（昭和9年12月4日）
日光町は、明治44年以来、何回となく国立公園指定の請願をしてきたが、昭和6年4月1日、国立公園法が公布され、日光は政府が挙げた十二の国立公園予定地の中に選ばれた。昭和9年12月4日の第二回指定により、日光・大雪山・阿寒・中部山岳・阿蘇の五国立公園が指定された。日光国立公園は、当初栃木・群馬・新潟・福島四県二町四カ村、面積は五万六千ヘクタールであったが、昭和25年9月22日に、鬼怒川・塩原・那須・川治・甲子区域が追加され、一四万六九八ヘクタールとなった。そのうち日光市は、二万三千三百ヘクタールが公園内に入っている。
- ㉑ 上の代発電所発電開始（昭和10年1月27日）
満州事変から日支事変にかけての日光電気精銅所工場拡張による電力不足を補うため、細尾発電所の放水を利用して、清滝和の代町に発電所が建設された。1月27日、仮使用認可があり、同時に発電を開始した。当時の最大出力は、三一八〇キワ、常時出力二五〇〇キワ、現在は、最大出力五三〇〇キワ、常時出力三五〇〇キワである。
- ㉒ 日光女子公民学校廃止（昭和10年3月31日）
日光女子公民学校は、昭和3年3月から日光高等学校に併設されていたが、入学生が年々減少したため、第八回の卒業生を最後に廃止された。第一回以来、八年間の卒業生は、百十二人であった。
- ㉓ 青年学校令公布（昭和10年4月1日）
青年学校令によって、日光町では、二つの